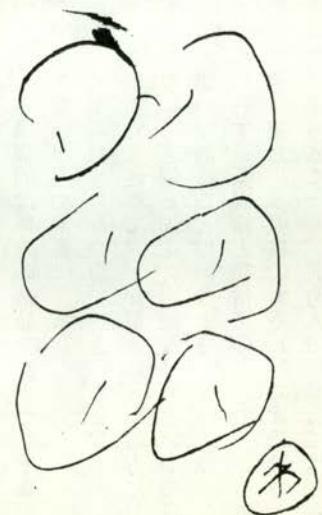


元町に想う

竹馬準之助
え・津高和一

“竹馬はん、三丁目(元町)で生れたのは二人だけでっせ”会えば必ず口に出されるのはこの言葉。先年亡くなられた森本倉庫前社長の森本元造さんまさか二人だけではないが、それほど元町生れの人は少くなつたことは本当である。かつて兵庫の繁栄を奪つた元町も戦後はある意味で大きく変つた。じつと目を瞑つて戦前の元町通りを思い浮べると老舗が軒を並べ、しかもそれぞの店の主人が元町人ではほとんど占められていた当時がまざまざと蘇つてきてなつかしさを覚える。元町も昔は三丁目が中心で店舗も一番多く、しかも比較的裕福な店が揃つていたと思われる。例えば生田神社の春秋の初穂料も先づ三丁目が筆頭で金額も一番多かつたようだ。それが戦後一、二丁目を経て三宮やセンター街へと、その中心が移行しつつあるようと思う。ことにさんちかタウンの実現によつてその傾向が強くなつてゐる今日である。

神戸は戦前、元町通りと異色のトア・ロードが代表的な商店街であつただけにひとしお一抹の寂しさを感じるのは私ばかりではないと思う。歌の文句ではないが、なつかしいすずらん灯はもちらん神戸のトップバッターであつた。これらをいろいろ思い浮かべながらその理由を考える時、その最大たるもの一つは三宮駅の移転ではなかろうか。今の元町駅が以前三宮駅であつたことは神戸人ならご承知のはず。神戸駅から見れば貧弱であるが、全國的にまた外人にもよく知られた三宮駅であった。半高架式の駅で以前は貨物の引込線があり子供時代にはよく構内で遊んだものである。また、駅の東に神戸で唯一つの鉄道ガードがあつて、それが低く狭くちようど穴倉のような感じのするものだった。誰いうともなく穴門と呼び今の大門筋の名が出来たものと思われる。そのいづれもなつかしい思い出。新三宮駅の出現によつて



ようやく変貌しはじめたのだが、元町人は今日の三宮駅付近の繁榮など恐らく夢想だにしなかつたのではなかろうか。只、今の元町駅を残してほしの一念で猛運動をした。その念願かなって鉄道省としては当駅区間最短の元町駅の存続を見たのである。したがって今の三宮駅の名称はむしろ場所としては、二宮駅というべきが正しいかも知れない。三宮駅の名称の根拠は私としては知るよしもないが当西の新開地と並び称せられた三宮神社境内の歓楽街が大きく市民に反映していたものと想像された。今の三宮神社は往年の三宮神社にくらべて本当の一握りの境内に昔をしのぶ何ものもない静かな存在である。

この東の歓楽街と西の新開地をつなぐ元町通りしかも三宮駅を持つ元町通りはまさに神戸の中心街として君臨できたのは当然といえるだろう。前にちょっと述べたように昔は元町の店主は元町人であった。街を愛し初代、二代と老舗が継承され、みんなが一家族のようで、団結心も強く、和氣あいあいの中に商いのできた、まことによき時代の続いた街であった。不幸にも戦火のため街は廃墟と化しここに大きな変革時代を迎えたのである。

話は前後するが、元来元町生れの子供は神戸幼稚園から、当時雲中とともに小学校の名門といわれた神戸小学校に上るのがしきたりであったが、しかしその神戸小学校は今日生徒が年々に減つていく。これは大都市中心部の小学校の全国的な傾向であるが、この学校も同様の運命にさらされているのである。これも我々卒業生としてまことに寂しい限りである。

私の母親からよく聞かされた話であるが、高潮が来ると元町通りに波が押し寄せた時代からみれば、今日の発展ぶりは隔世の感があるが、時代の推移には逆らえない。かつて神戸一といわれた兵庫柳原がその地位を花隈福原に譲り、今までその業者が昔日のおもかげなく、衰退の一途をたどっている。とくに元町に関係の深い花隈は大衆に所詮縁無きごとき存在として、ようようその命脈を保っているに過ぎない。

さて話は変るが元町と生田神社は昔から縁が深い。ただ単に、氏子という関係だけでなくそれ以上のものがあったのである。戦後國の手を離れた神社が氏子の社として再建復興したのである。その後という新しい時代に入つて予想外に協力されたのが、三宮町、元町通りその他従来の関係各町以外に宮元町といわれる神社周辺の人たちであつた。ここいらに戦前戦後のはつきりしたちがいが出て来たのである。

今日神社を中心とした一大歓楽郷の出現は地元の人の飛躍的な努力の結晶であったことは疑うべくもない事実である。

以上あれやこれや思いつきのまま、まとまりのないことを述べて来たが最後に元町の方にお願いしたい。老舗と固定客の強みは何といつても元町が第一であることはいうまでもない。しかし新時代に處する新規格と新構想のもとで、さらに一般大衆に親しめる風格のある元町の建設に最大のご努力あらんことを、元町人の口にしてはならないことをいささか申しましたが元町を愛するゆえ、ご寛容のほどを。

マンヂヤーレ

石阪春生

（絵と文）



ローマの夏の午後はたいへんな日ざしになる。家々はみなブラインドをしめきつて、光をたつ。そのためか家中は比較的すずしくなる。厚いレンガの壁の中で、一時から四時まで午睡する。空気がかんそうしているせいか、さわやかなすずしさとブドウ酒で眠りやすい。

おちついた下宿屋は映画出てくるようなアミの中のエレベーターが階段の中央に通っている三階目の家だ。ばあさんと兄妹が二人、他に下宿人が二人と我々だ。ばあさんが通りまでにこやかにむかえてくれた。荷物とともにいまにもこわれそうなエレベーターに招じ入れてくれた。ギーギー

エレベーターが上る。だがこのエレベーター、10リラの銀貨を入れなくては上へあがらないから愉快である。まったくの十九世紀だ。食事は、昼は一時、晩は八時半だ。ばあさんの手料理でやはりスパゲティだ。大きな皿に山もりもつてくれる。底の方は油でつかっている。彼らはそこへまた山もりのチーズをかけて、その油がなくなるまでかきませる。つまりチーズがその油をすってさばさばになるわけだ。そして食べろという。私のテープルの隣りに座るのは下宿をしているアンナという青年、この家の長男である。彼らはおしゃべ

りをしながらスパゲティをたぐみに食べる。手まねで私にスパゲティの食べかたを教えてくれるが、イタリヤ語のイの字もしらぬ私はどうしようもない。しかたなく、私はとつておきのイタリヤ語で隣りに座っているアンナに話しかけた。

「モルトベロ」（あなたはたいへん美しい）

日本語では大変な直接用語である。ところが彼女すずしい顔をして、

「グラーチエ」（有難う）とかえってきた。

私は面くらった、私は彼女がもつと照れるものばかり思っていたからである。

そこで、またその夜の食卓で、私はまた彼女に「モルトベロ」とやつた。が、やはりかえつてきの言葉は「グラーチエ」である。まったくの感覚の違いだ。

手まねやメモをかいたりして、彼女の年令が二十才で、近所の美容院へシリヤからきていることがわかった。栗毛色の長髪、どちらかといえば小がらの可愛い美人だ。やつと画をかかしてくられることだけは約束してくれた。

そうして、やつとスパゲティを食べおえたのはよかつたが、ばあさんはとくい顔で大きなビフテキをやいてきたのである。つまりあの山もりのスパゲティはステップ同様のあつかいであるのだ。ばあさんは盛んにマンデヤーレ、マンデヤーレ（食いいな、食いいな！）と呼ぶ。私の胃袋はもはや満タンである。だが、ばあさん盛んにイタリヤ語をまくしたてながら、マンデヤーレ、マンデヤーレとする。英語もなにもまったく通じないから立派である。胃弱な私、なんとか食つては見たが残つてしまつた。

彼等はと見るとペロリとすずしい顔をしているばあさんは気嫌がよくない。このマンデヤーレは私のローマの生活でいちばんまいった。毎回スパゲティと肉料理である。調理はいろいろしてくれが、いつも同じでせめてくる。そのひつこさを彼等はどんどんマンデヤーレするのである。いまさらながら、日本のディテールとバラエティーに郷愁を感じはじめる。あとできいたがイタリヤのこのタント、タント、マンデヤーレは有名なことらしい。

そうしてはじまつた私のローマの暮しは、すべてがそのタント、タント、マンデヤーレにむすびつきはじめた。たとえばバチカンの美術館を見た時である。その大建築物に入るにおよんで先づぎつしりと彫刻のある螺旋道路からはじまる。これらを見物人は五階くらいまでぞろぞろ上げられる。次々と現れる大壁画、そして、からくさ文様のレリーフ、キリストをマンデヤーレして、ミケランデエロの大壁画のある有名な大聖堂をようやくにあおぎ見る。イタリヤの土の色をしたこの大画面はどこまでも、どこまでも大巨匠の筆で動いて行く、エネルギーの違い、人類の違いが私におしかかってくる。つまり絵画をこえた彼等の暮しがあり、食べものであり、血であると思つた。この油っこいチーズの臭いがきつい西洋、私が思つていた西洋よりずーと西洋であったのだ。とたんに下宿のばあさんのタント、タント、マンデヤーレの声がきこえてくるような気がしてきた。ヨーロッパの彼等だって巨匠たちの造つた文化をマンデヤーレしすぎてどうにもならないのではない

旗の街

十河巖

（随筆家）

安政条約で開港した神戸港の居留地時代には、駐留する各国外交機関や船会社、貿易商社などが永代借地権の上にあぐらをかき、治外法権を笠にきて、ずい分威張り散らしたものらしい。

居留地には各国の領事館の窓から国旗を路上につきだし、国威を誇るかのように汐風になびかせた。また汽船のマストの国旗のゆくところ国威の拡張であるとばかりに、神戸港に錨を投じた外国汽船はそれぞれの国旗をマストにかかげて、これまた国威の競争をやっているかのようだつた。

だが旗、旗、旗の中に見あたらぬのは地もと日本日の丸の旗だけであった。ところが明治四十一年に神戸沖で日露戦役戦捷記念の大観艦式が行われて、日本軍艦百五十艘がマスト高く海軍旗をかかげて、二列に整列、ズドンズドンと百一発の皇礼砲をぶっぱなした時の神戸市民の喜びようといふものはそれこそ大変なものだつた。永い間の旗のコンプレックスを解消したからであろう。

これがきっかけとなり、神戸に海運業者が軒を張つて、しだいに発展し、諸外国の汽船会社にまじつて日本の海運業も自社の社旗を社屋の窓から外国流につき出して威勢を張るようになつた。

いまだに神戸の京町辺一帯だけはいわゆる「旗

の街で」各国外交機関の国旗や汽船海運業者の旗が浜風になびき、ほかの都市では見られない情景を呈している。

生田警察南角のビルにかかげられた斜めに「田」という字を肉太に書いた旗などは、時代を感じられるのみか、いかにも日本人らしく、田村商会の創業者田村新吉さんの氣骨のほどがしのばれて愉快である。その社旗を見ていると、なんとなく昔の馬印が想像されるのだ。

馬印とは昔の戦場で、大将が自分の位置を示したものでこそぶる威勢のいいものである。徳川家康は軍扇で、太閤秀吉はお馴染みの千遊びようなんである。大将の一族郎党が生きるか死ぬか、名を成すか、没落するかの別れ途の大切な刹那の示威だから、威勢を張るのも無理はない。

景況のさかんなことを誇示するためにはいつの世にも旗が必要だった。海外を旅行していく、いぢばん国旗をさかんになびかせているのはフランスである。別に国家的機関でも、なんでもない建物に三色旗がひらめいている。それが一つや二つではない。ひとつの大建物の数あるピナクルの尖頭には必ず三色旗が立っているのだ。

また東ベルリンに入つたことがあるが赤の旗が

林立している建物があった。よく見るとレストランだった。

飲食店労働組合のストライキかなと思つたら、とんでもない思ひがいで、ビヤホールの景気づけに国旗の赤旗を飾つてゐるのだった。

国にしろ法人にしろ、景況がよくて、活気あんな時には主として旗をたてたがるものである。

では人間個人ではどうだろう。

個人でもやはり同じことだ。むろんそれは会社や団体、公的機関に所属する個人である。

まず大学生だが考え方が高等になつたのか、あるいはあまり学校騒動をおこすので気がひけるのか、近ごろは校章のついた学生帽はあまりかぶらないようになつた。その代りカブトに代つた。それも手軽なプラスティックのヘルメットである。

よくテレビなどに出てくる、全学連の学生デモの画面に映るが、学生はみんなヘルメットをかぶつている。昔の陣笠に似たところもある。そのヘルメットの横脇にちゃんと大学の名と自分の名前をはつきり書いたのを見うける。検挙されたり、警官の目じるしになるのだからそんなことはやめといつた方がいいと思うのだが、やっぱり自分の名をはつきり書きたいらしいが、ちょっと不思議な感じがする。あるいは他人のと間違つては困るとか紛失しても誰かあとで届けてくれるとでも思ったのかもしれない。また、名前を書くような生真面目な学生だから、あとで検束されるような心配など毛頭ないのかもしれない。むしろ大きく、自分の名を明記しているところはヘルメットをかぶつてデモをやる自分に大きい誇りと使命感を感じのことだろうか。

いいものがある。

夏の甲子園の高校野球の選手は最初の入場式で女生徒がささげる、それは馬印にもひとしい校名入りのプラカードのあとに従つて、場内を一周するあたり、全く意氣軒昂、全く天を衝くかんがあるといったところである。

会社の新入社員は大威張りで会社のバッヂをつけている。だが日通のように、会社の幹部が不祥事件をひきおこしたのでは誇りをもつてバッヂをつけて歩くわけにはいかないだろう。

同じように収賄事件があとをたたない国会議員でも、やはり世帯が大きいだけに俺だけは公正だと思っているのか衆議院議員バッヂをつけることは誰しも嬉しいものらしい。青島幸男、石原慎太郎参院議員でも新しい議員バッヂを胸につけて、テレビの画面で随分嬉しそうだった。いつまでもそうあってほしい。

旗は旗でも天気予報の旗は別もののようだが、やはり、得意な時とはずかしそうに見える時がある。晴は白、雨は青、曇は赤で、雪は緑だったと思ふが、晴れの予報が出てるのに雨が降つてゐるのではどうにもならない。

わたしはいま六甲に住んでいるが近所に「旗あげ坊や」がいる。本名は北村正之君、まだ幼稚園へいっているが、一昨年の春にはおばあさんの手造りの七センチぐらいのミニ鯉幟を二尾も三尾も竹竿の先へかかげていた。それがいつの間にか小さい日の丸に変つた。近ごろではさらに進歩して毎日の気象旗をかかげるようになつた。旗もバッヂも同じこととなると、大人になると青島議員のようにならぬとは限らない。人間大いに旗印をかかげたいものである。

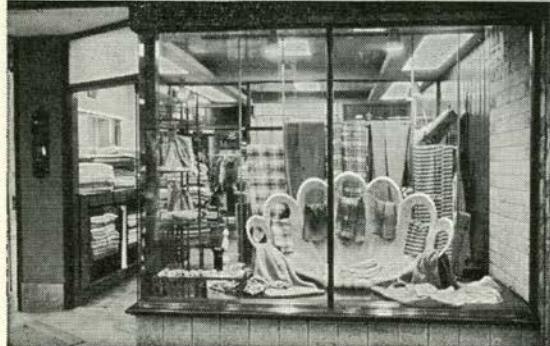
そこへいくと中学生や高校の生徒は、入学した当座、誇らかに金色まばゆい校章をつけた白線帽をかぶつているところまことに凜々しくて、可愛



Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 33-5689



秋のあなたを飾る
マキシンのシャポー



マキシンの帽子のおもとめは
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL (078) 33-6711-3 TEL (03) 535-5041

*世界で最も名誉
ある時計ロンジン



特 約 店



美 田 時 計 店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

KOBEセンスを生かした
信用と伝統の店



▷ゴルフコーナーには、No.1のダンロップ用品を中心にあらゆるゴルフ用品がそろっています。

▷タカハシのオリジナル・バッグコーナーは定評があります。



バッグとゴルフ用品の店

タカハシ

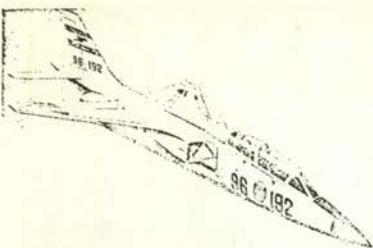
神戸・元町3丁目 TEL 33-1172・7782

三つの「X」

諸岡博熊

△神戸市企画局調査部副主幹△

II 国産機開発計画Ⅱ



Y-S-X はこんな形が予想される

YS-X は日本の国産民間輸送機として好評を博し、アメリカのピートモント航空が二〇機も一括購入するのをはじめ、売約済は七月末で一三五機に達し、将来は二〇〇機以上になる見通しがある。すでに生産台数は七〇機目にはいっている。次期の航空機として、三つの「X」機開発計画を控え、日本の航空工業界は苦悩している。それは F-X と T-X が外国製品を導入してライセンス生産を行なう、C-X と Y-X は最初から国内開発として通産省の大型プロジェクトにのせようとしているからだ。

YS-11 は日本の国産民間輸送機として好評を博し、アメリカのピートモント航空が二〇機も一括購入するのをはじめ、売約済は七月末で一三五機に達し、将来は二〇〇機以上になる見通しがある。すでに生産台数は七〇機目にはいっている。

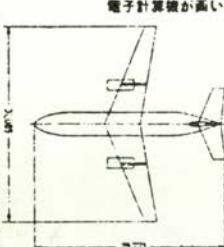
YS-11 は日本の国産民間輸送機として好評を博し、アメリカのピートモント航空が二〇機も一括購入するのをはじめ、売約済は七月末で一三五機に達し、将来は二〇〇機以上になる見通しがある。すでに生産台数は七〇機目にはいっている。



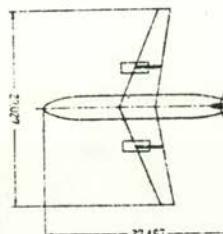
Y-S-X はこんな形が考えられている

YS-X の練習用としての音速の二倍以上の速度をもつもので、純国産の実戦機としても使用可能である。F-X といえれば外国機のライセンス生産をつづけてきたわが国にとって T-X 開発の意義は非常に大きいといえる。

防衛庁が一九六六年から研究開発を続けていた中型ジェット輸送機 C-X は老朽化しつつある現用の C-X 46 輸送機の代替である。ところが、軍用輸送機には他の一般の輸送機に比べて得られる能力と性能が要求されていて、使用側の方針の確立



電子計算機が画いた Y-S-X の基本型 2 例



Y-S-X はこんな形が考えられている

と製造者側の技術の向上が何よりの解決策といわれる。しかし、物糧の空中投下とか、貨物のごく短時間の積み下ろし、空挺隊の輸送のための貨物室の与圧、防弾装備不整地への発着に対する特殊の着陸装置、さらには他の機種への転用など実際に要求の範囲が複雑多岐にわたっている。

YS-X は異なり通産省が中心となって開発を進めている。YS-X 機は以上の二つの「X」機と異なり通産省が開発、02号機疲労テスト開始、四八年度飛行テスト開始、01号機のテスト開始、四六年度初飛行、飛行試験開始、02号機疲労テスト開始、四八年度飛行テスト、試作完了、生産開始という段階である。

四二年未に OR 調査の中間的結論として、乗客七五〇人、航続距離四〇〇キロメートル、翼面積約三〇メートル、全長約三〇メートル、最大離陸重量六八〇〇キログラム、エンジンは、一九七〇年代に実用化される効率の高いバイパス比三・〇程度のターボファン・エンジンといった概略の要目・性能を持つ中・短距離用機の姿が浮かび上っている。しかし、民間機である限り、YS-11 のように世界航空界の盲点についてブームを呼びうるか日本の技術者が軍用機の経験のないため YS-11 のときも一五〇か所近い設計変更をアメリカから要求された。この経験を生かして Y-S-X では安く使いやすい飛行機が製造されねばなら

いる九〇人乗りの中距離ジェット機で、開発費は約一六〇億円見当。半額を政府出資としても残り八〇億円は航空機メーカー（三菱重工、川崎航空機、富士重工、日本飛行機）が負担する。YS-11 のとき総開発費五八億円のうち民間側が負担したのは二五億円であるか

ら、いかに巨額であるかがわかる。

現在の計画では、四三年に基本設計、四四年より細部設計、治具・工具の製作ならびに材料・部品の手配および入手、部品の製作、試作用 01 号機の組立て開始、01 号機のテスト開始、四六年度初飛行、飛行試験開始、02 号機疲労テスト開始、四八年度飛行テスト、試作完了、生産開始という段階である。

四二年未に OR 調査の中間的結論として、乗客七五〇人、航続距離四〇〇キロメートル、翼面積約三〇メートル、最大離陸重量六八〇〇キログラム、エンジンは、一九七〇年代に実用化される効率の高いバイパス比三・〇程度のターボファン・エンジンといった概略の要目・性能を持つ中・短距離用機の姿が浮かび上っている。しかし、民間機である限り、YS-11 のように世界航空界の盲点についてブームを呼びうるか日本の技術者が軍用機の経験のないため YS-11 のときも一五〇か所近い設計変更をアメリカから要求された。この経験を生かして Y-S-X では安く使いやすい飛行機が製造されねばなら

神戸のアーバンデザイン

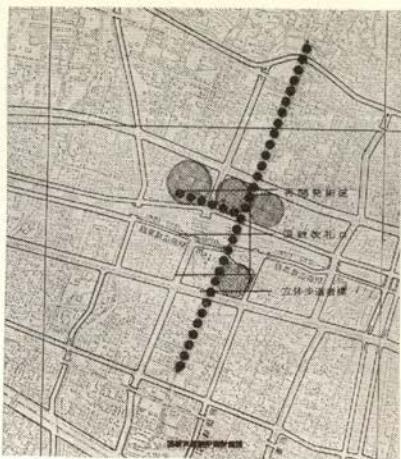
⑩

住宅地の駅前市街地

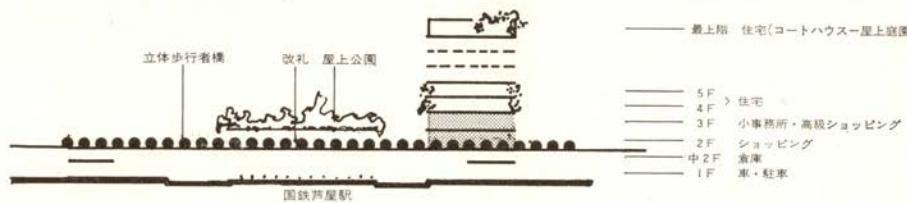
水谷顯介+チーム・UR



芦屋駅より北側を見る



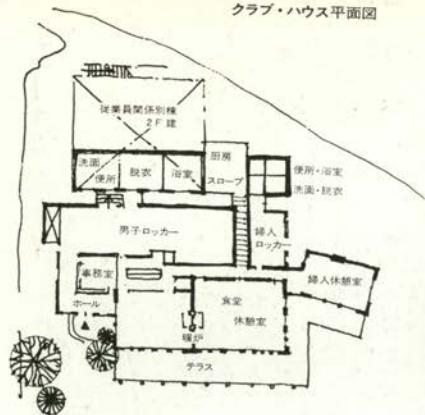
国鉄芦屋駅付近平面計画図



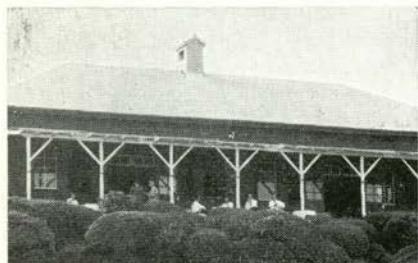
▲ 国鉄芦屋駅付近・立面計画図

★ 静かな郊外住宅地だった頃の駅前とは変って、賑やかな国鉄芦屋駅前になつてきました。庭をもつたお屋敷が高層のマンションなどに建て変わって、多様な都市生活のための高密度な市街地住宅の街に展開してきたからでしょうしかし、賑わいに比例して、街が混雑してきたことも事実です。自動車があまり使われなかつたころにできた駅前広場ですから、こうバスやタクシーが増えてくると、人間の歩く場所にも困ります。海岸の埋立地やら、山の奥地に、駅から遠く離れた住宅地ができる、奥さんに自家用車で駅まで送つてきてもらつても（キス・アンド・ドライブ）車をとめる場所もありません。

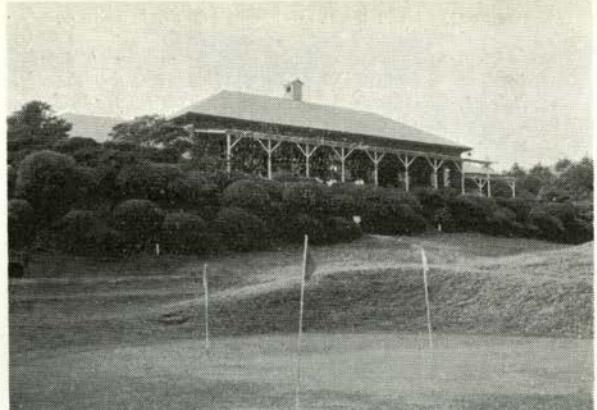
駅前広場を囲む街の整備計画が必要です。土地がないのですから立体化による高度利用は止むをえません。一階は車のスペース。二階に人間のための広場とショッピング、この階は国鉄の駅の改札のための南北をつらぬく歩行者人工土地床にそろえます。三階と四階に小事務所、高級店舗、医者など新しい駅前づくりへ向つて、周囲をリードしたらどうでしょう。



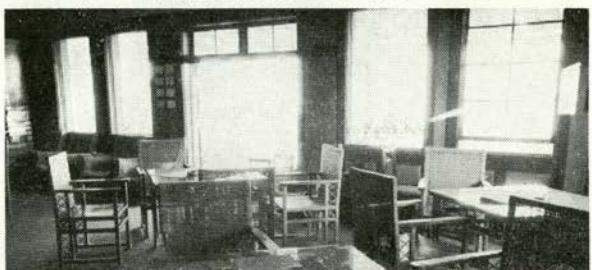
クラブ・ハウス平面図



▲ 南よりテラスを見る



▲緑に囲まれた赤いクラブハウス



▲ 食 堂·休 憩 室

★六甲山上に今日のにぎわいをもたらすきっかけをつくったのは、明治二十六年頃夏の六甲住まいをはじめたイギリス人A・H・グレーム氏です。明治三十四年には居留地の外人達によってゴルフが始められ、三十六年日本で最初世界国別で八番目のゴルフクラブが組織されました。これが、神戸ゴルフクラブのはじまりです。

この歴史あるクラブの現在のクラブハウスは、昭和七年に関西学院や神戸女学院のミッション・スクールも手がけたアメリカの宣教師・建築家のボーリス氏の設計によるものだそうです。

住宅でいえば、居間にあたるロビーが、このクラブハウスの中心です。なだらかなグリーンを見おろすようになって開放されているロビーと、それに続くレンガ敷のテラスは、人々の談笑の場です。簾でつくられたロビーの家具は、古びて変色しながらもカクシャクとしています。バーの背高いカウンターは、木肌が使いこまれて油びかりしています。この室内の居心地のよさの中には、昨日今日では得られないものがいっぱいあります。また、それを大切に思う人々の集まるところがこのリビングルームなのです。

(高月昭子)

集いと談笑 クラブハウスの機能 神戸のモダーンリビング

水谷顕介+チーム・UR

20

経済ポケット ジャーナル



出光興産、県、姫路市が

公害防止で協定

出光興産が姫路市飾磨区

妻鹿地先に計画している姫

路製油所建設にともなう公

害、災害の防止をうたつた

県、姫路市、出光興産三者

による協定、覚え書きがま

とまつた。

協定には昨年県公害審議

会が県、出光側に、數十項

目の条件、注文をつけて答

申しした線に沿つて「石油コ

ンビナートを計画しない。

大気汚染を悪化させるおそ

りのあるときは県、市当局

の要請で直ちに「%以下の

低硫黄重油を使う」などを

(覚え書き)を決めている。

製油所立地に当たりこの

ようないい厳格な協定がかわさ

れるのは初めて。同製油所

の建設は近く通産省の石油

審議会で最優先して認められ

る見通しだが、数年来地

元家島の漁協を中心根強

い反対があるため今後の成

り行きが注目される。

協定および覚え書きのお

E E Cで豊岡かばん の見本市

兵庫県の代表的特産「豊岡のビニールかばん」が西ドイツ・ハンドブルグのジャパン・トレードセンターで九月二日から五日間、欧州初の見本市を開く。金井知



浅山紀代子さん (20)

大日通運業務第三課 タイプ係

神戸生まれの神戸育ち。ものごとに執着しない楽天的な性格。船に乗って遠くへ行きたいういの神戸っ子の典型的のようなお嬢さん。

ある土曜日の昼下がり、ランチにのってこころよい潮風にあたる紀代子さん。

県立神戸商高出身 須磨在住。

KOBEオフィスレディ

もな内容は次の通り。
一、会社は県、市が行なう公害、事故発生防止の措置、公共事業の実施に協力する。主要施設や公害防止施設に変化を加えるときは事前に県、市と協議する。石油コンビナートは計画しない。

一、公害、事故が発生したときは損害を賠償し、下請け企業にも公害防止の指導を行ない、下請け企業の責任による事故も会社が誠意をもつて解決する。

一、自家燃料は重油分2%の重油を使い、大気汚染悪化のおそれあるときは直ちに「%以下の低硫黄重油に切り替える。煙突の高さは百二十㍍以上の集合型とする。

事ははじめ産地メーカー代表が開場式に出席する。豊岡のかばんは、ことし四十億円の輸出を見込んでいるがその八〇%が米国向け。韓国、台湾、香港など後進国の追いあげもあって、対米一辺倒の危険な輸出構造から抜け出し、E E C市場の開拓を図りたいところ。現地では有力小売り店、バイヤー、デパート関係者三百人余を招待して意見を聞き、即時商談も進める。

はまちビル建設めざす

県かん水養殖漁協

年間十五億円もの商いを

しながら経済活動をしてい

なかつた「兵庫県かん水養殖漁業協同組合」(小林松

右衛門理事長、組合員二十

人が、県水産課の指導で

本年度の放養はまちから一

尾につき一十円天引き

み立てし、はまちビルの建

設や人工飼料の共同購入、

人間の指導で

万円を積み立て、本拠地の

はまちビルを神戸市内に建

て、まだ普及していない人工

飼料の共同購入、越年用の

陸上水槽を建設、できれ

ば神戸や大阪のスーパー、

生協と組び「はまち直売所」

まで設けたい意向。

養殖技術の向上に取り組むことになった。

同協組の事務は県信用漁

協組連合会に委嘱したま

まの事務所も職員も持たない。

県下には業者は少ないが全

くの勢力をもつたない。

国屈指のはまち養殖県で、

年間三百五十万尾を水揚げし、組合員の動かすカネは

はまちで十億円、飼料で五

億円にのぼる。「これだけ

の勢力をもつたながら経済活動ゼロというのももつたない」と、県水産課が協組の指導に乗り出し、天引き積み立てで資金をプール、共同事業を始めることになったもの。

協組はとりあえず三千

万円を積み立て、本拠地の

はまちビルを神戸市内に建

て、まだ普及していない人工

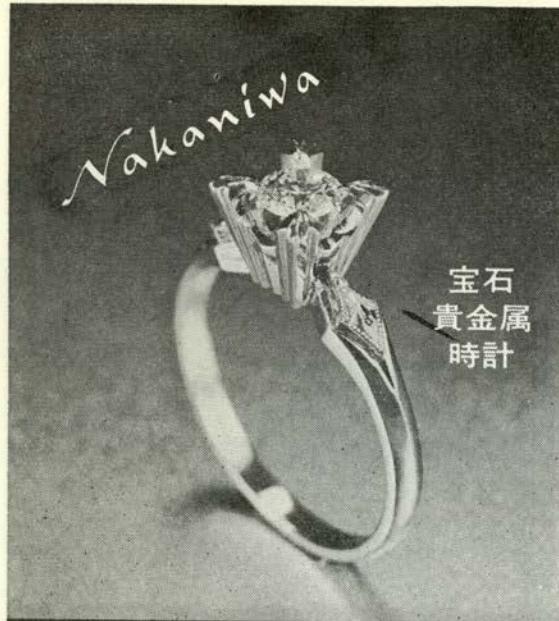
飼料の共同購入、越年用の

陸上水槽を建設、できれ

ば神戸や大阪のスーパー、

生協と組び「はまち直売所」

まで設けたい意向。



宝石
貴金属
時計

梅田阪急前店オープン

仲庭

さんちかタウン (39) 4593
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
梅 田 阪 急 前(御堂筋東側)
(313) 0512代表
桜 橋 每日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ



きものと細貨
もんがら庵

神 戸

西 店/三宮センター街・電話3 3-8836 (代)

東 店/三宮センター街・電話3 3-0629

三宮店/さんちかタウン・電話3 9-4303

東 京

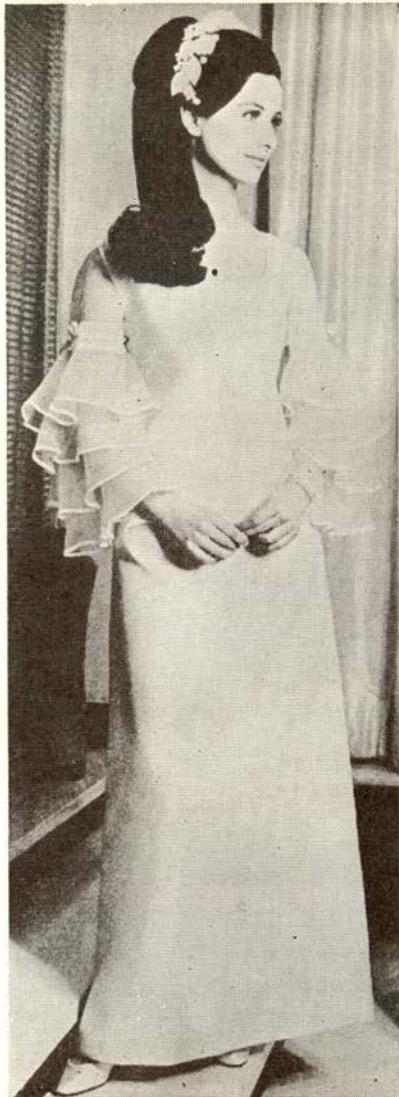
銀座北店/銀座並木通り・電話573-5298 (代)

銀座南店/銀座並木通り・電話572-4847

渋 谷 店/東急本店・電話462-3409 (直)

日本橋店/東急日本橋店・電話211-0511 (代)

(4階和装名家街) (内線294)



神戸っ子のセンスを生かす
＊服飾
**K
E
I** の店
神戸・大丸前 服部宝生眼鏡店 2F
大阪・堂島船大工町 日昭ビル 1F
(344) (33) 7550
63123



Gya **スギヤ**

トア・ロード市電大丸電停前
TEL (33) 3436
六甲店・阪急六甲駅
TEL (87) 2731(呼)



CINEMA

<27>

新人監督と新人俳優のこと

淀川長治

映画評論家

このところめまぐるしく登場しはじめた

むかしは監督も俳優も七年契約または五年契約というものがあった。それでその間の五年なり七年をその会社はその新人を大いに派手に宣伝して売りこんだものである。

ところが近年では独立プロが盛んになったことと併せ監督やスターの給料がべらぼうに高くなつたので五年契約中に万が一そのスターや監督の人気が落ちたときの損失は馬鹿にならない。しかも最近のようになると作品第一主義となると主演者も監督もそのつどその作品に適した人たちを集めた方が巧くゆく。というわけでスター第一時代は消失し、リズ・ティラー・ヤードリー・ヘップバーンやソフィア・ローレンやジュリー・アンドリュースあたり以外はもはや新人の方が逆に観客をひきつけるし、映画会社もその新人ゆえの新鮮さを宣伝する。そしてその契約期間も短かい。

そこで「暗くなるまで待つて」の殺し屋スタイルのアラン・アーキン、「俺たちに明日はない」のアーサー・ペン監督とフェイ・ダナウエイ、「星顔」「めざめ」のペール・クレマンティ、「卒業」のマイク・ニコルズ監督とあの主人公の青年に扮したダステイン・ホフマン、「青春の海」のアレン・H・マイナー監督とクリストファー・ジョーンズ、「血と怒りの河」のシルビオ・ナリツツァーノ監督とテレンス・スタンプ、「魚が出てきた日」のミカエル・カコヤニス監督とキャンディス・バーゲン、「未青年」のピエール・グラニエ・ドフェール監督とジャック・ペランとエバ・レンツィ、「風はひとりぼっち」のジョゼ・バレラ監督とジャン・ピエール・カ

ルフォン、「遙かなる戦場」のデビッド・ヘミングス。「しのび逢い」のケビン・ビリングトン監督とオスカ・ウエルナー、バーバラ・フェリス、「若い狼たち」のハイディ・ポリトフとクリス・チャン・エー。「ペルーの鳥」のあの作家のロマン・ギャリー監督そして「風はひりばっち」にも出演のこの映画のカルフロン。

これらの名を並べたところで殆んどお馴染みではあるまい。そこでこれらから成功株を拾つとアーサー・ペン監督は言うまでもなくマイク・ニコルズ監督、シリビオ・ナリツァーノ監督、ミカエル・カコヤニス監督などはもはや第一級、新人俳優ではピエール・クレマンティとダステイン・ホフマンそして風変りなタイプでジャン・ピエール・カルフロンが芽を出すであろうし、フェイ・ダナウエイ、テレンス・スタンプ、オスカー・ウェルナー、キャンディス・バーゲンなどはもはやスターとして第一級の地位に置かれている。

それで目下最も多忙はフェイ・ダナウエイで、彼女はカルロ・ポンチ製作、ビットリオ・デ・シーカ監督の「恋人たち」にマストロヤンニと共に演のあとアーサー・ミラー原作の「転落の後に」にマリリン・モンローをモデルにしたその主役を演じることになつていて。

「コレクター」一本で売り出したあのテレンス・スタンプは近くフェデリコ・フェリーニ監督のキリスト教以前の南イタリアの同性愛の三人の男を描いた「サテュリコン」に主演する。共演がダニイ・ケイ、ピエール・クレマンティというのも面白い。同性愛といえば二十世紀フォックスがその舞台の映画化権を買い取つた「階段」

はその主人公の理髪師二人のホモ・ドラマで、映画のその主役がリチャード・バートンとレックス・ハリスンとは恐ろしい。

「めざめ」のピエール・クレンマンティは「星顔」のチンピラやくざ。その役の「サテュリコン」のあとがビットリオ・カプリオリ監督の「ねえ、愛を語りましょう」その共演が名女優のエドウイージ・フィエールとクロオディース・オージェーというのも面白い。

「遙かなる戦場」のデビッド・ヘミングスは「キャメロット」にも出ていたが彼は少年のころはオペラ歌手を夢みていたそうである。その「遙かなる戦場」と「キャメロット」のバネッサ・レッドグレーブは近くシドニールメット監督のもとにチエホフの「かもめ」にジェイ



卒業★ダスティン・ホフマン/キャサリン・ロス佐



青春の海★クリストファー・ジョーンズ



血と怒りの河
テレンス・スタンブ



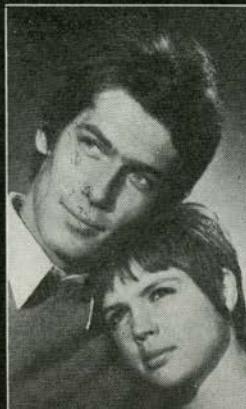
風もひとりぼっち
ジャン・ビエール・カルフォン



「俺たちに明日はない」★
ウオーレン・ビーティ・フェイダナウェイ



遙かなる戦場★
バネッサ・レッドグレーブ/デビッド・ヘミングス



若い狼たち★
ハイデー・ボリトフ/クリスチャン・エー



めざめ★ピエール・クレンマンティ
/カトリーヌ・ドヌーブ佐

ムス・メイスンとシモーヌ・シニヨーレと共に演する。

新人といえばあの「家族日誌」、「ロシュフォールの恋」のジャック・ペランはギリシャの自由党議員暗殺事件をあつかった「Z」にイヴ・モンタン、ジャン=ルイ・トランティニアンと共に演したあとルイス・パウエルスの小説「奇怪な愛」の映画化権を買いとり、なんとまあ自分で監督をもするという。

映画ファンというものは、実にこのような製作ニュースというものが楽しいものである。それも新人のめざましい活躍にはなによりも注目するものである。

映画ファンとは可愛いものである。そしてかくいう私も実はその一人。

神戸遊戯誌 61

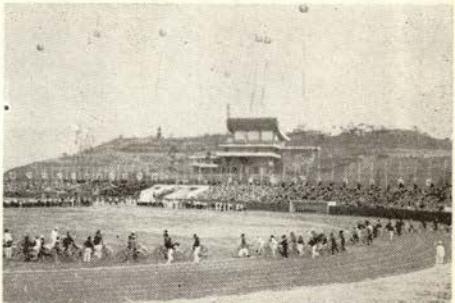
★初期は貸し自転車大繁盛

自転車は、十八世紀末木馬の足に木製の車輪をつけてまたがり、両足で地面を蹴って進むことから始めたもので、当時はまっすぐ進めなかつたが、やがて方向の操縦ができるようになり、さらに一八三九年ごろになると足が地面を離れるようになつた。しかし現在の自転車の母型となつた、ペダルの回転とギヤ、チェーンの

ついたものは、これから五十年後になつてようやく現わされたものである。

ところで、わが国へ自転車が輸入されたのは一八八一年（明治14）で、アメリカからだつたが、明治三十年代になると、女子大の運動会にも登場するほどの流行をきたした。当時の「読売新聞」に連載された小杉天外の「魔風惡風」の第一回のさし絵にもリボン、ハカマ姿の女子大生の自転車にさうそく乗つた姿が描かれている。そ

写真下は、昭和42年、379人を乗せたサイクリング列車。京都一相生一坂越一赤穂とサイクリングしての帰路である。
写真右は、姫路野球場で行なわれた第1回兵庫県中央県民ラリー。



北田一夫氏
(県体育課指導主任)
常松喬氏
(県青少年局次長 県サ)
(イクリング協会副会長)



写真上は、昭和42年、第9回西日本サイクリングラリーに参加した兵庫県勢。



田中裕氏
(県サイクリング協会常務理事)
西尾奈良太郎氏
(県サイクリング協会常務理事)

サイクリング (1) 青木重雄

して、急速に全国的にひろまり、やがて大正の初めにかけて盛んに自転車競技が行わるようになつた。だが、これらのレースはアマチュアながら当時の内外メーカーの自転車販売上の宣伝に利用されていたうえ、スポーツの団体としての機能を發揮するような方法も組織も結成されていなかつた。ところが、大正四年、第二回極東選手権大会が上海で開かれた時、わが國から代表として藤原正章選手が参加、十五マイルに50分13秒で優勝した。ついで第三回大会が大正六年に東京芝浦で開かれ、二十マイルで池田清次郎選手が1時間2分52秒で優勝、前記藤原選手は二着となつた。こうして日本人の国際的実力が自認されるようになったわけだが、国際的レースにはその後出場の機会にあまり恵まれなかつた。だからサイクリング競技に関する団体としては明治四十一年に選手だけで結成された東京輪士会があつたぐらいのもので、近代アマチュア・スポーツとしての発達は昭和九年十二月日本サイクル競技連盟が組織されてからのことである。この団体結成の動機となつたのは、昭和六年開かれた、毎日新聞社主催の西日本府県対抗サイクル・チーム・レースで、鹿児島—大阪間一千キロを走破するもので、自転車が新たにスポーツとしてクローズ・アップされたものだつた。翌年第二回同大会が甲子園で開かれる、各府県に自転車の団体結成の気運が動き、まず大阪、兵庫京都、名古屋の四つの団体が相寄つて前記の日本サイクル競技連盟が生まれた。その後パリで開かれたUCI総会で同連盟はさらに自転車競技会の統制団体として加盟を認められ、こうして戦後へ、つづいて現代へかけて日本の自転車競技は順調な向上をつづけているわけだが、ここではサイクリング・レースの方にはあまり触れず、主としてレクリエーション用としてのサイクリングについて述べてみたい。

現代では自転車は昔からのように荷物を運搬するための商用や通学、通勤用などのほかレクリエーション用に用

いられているが、明治、大正初期はもっぱら上流社会の遊び道具としてだつた。というのは値段が巴高く、とても庶民は買えなかつたからである。なんでも大正はじめ日本製自転車は二八〇円もしたもので、今の自動車よりもはるかに割り高の貴重品だつた。だから買えない連中は当時で始めた貸し自転車で借りて練習したものだが、一日の借り料が五十銭、当時おとなが一日働いて三十銭ほどの収入だつたのだから全く大散財だつた。それでも借り手が多く、順番を待つてやつと自転車のハンドルを握らせてもらえるに一日かかることもあつた。聚楽館横の「土手」（現在の新開地本通り）で貸し自転車で練習する人の姿がよく見られた。

その後自転車の遠乗り会が愛用家たちの間で各地で試みられるようになつた。なかでも神戸からは出雲大社や伊勢まいりがよく行なわれた。今日のように道路がほとんどアスファルトではなかつたが、自動車が数えるほどしかなかつたので途中はじつに快適な旅行だつた。またその頃神戸から山陽の七福神まいり自転車旅行も行なわれたが、午前四時に握り飯を持って兵庫をスタートしてしまず長田神社へ参拝、それから明石の人丸神社、高砂、曾根、姫路の各神社へまひつて夕方ごろ神戸へ帰つて来た十一時間ほどのツアーダつたが、当時はまだ自転車の遠乗り会は珍らしかつたので途中一行は意氣揚々だつたこと、その一人西尾奈良太郎氏（兵庫県サイクリング協会常務理事）は思い出を語つている。こうした神戸の遠乗り会は昭和十年頃までつづいて行なわれた。使用自転車はおもに4分の1タイヤ・サイズだった（普通は8分の3タイヤサイズ）。なお、前にも書いたが、一方ではスポンサーつきのセミ・プロレースのようなものも行なわれていた。大正四、五年から七、八年頃までつづいて行なわれた須磨大池レースがとりわけ世人の目を引いていた。ダンロップ所属の選手が背中にマークをつけて大池を何回か力走するレースだったが、観光地須磨の呼び物の一つになつていた。